

| 今月の不動産経済 （2023年12月）

● 不動産業の動向

		前月比
不動産業景気動向指数（DI） ^{*1}	47.5 p	△ 0.4 p
		前年同月比
不動産業の倒産状況 ^{*1}	21 件	△ 12.5 %
負債総額 ^{*1}	3,622 百万円	△ 10.6 %

● 新設住宅着工数

		前年同月比
新設住宅着工・総数 ^{*2}	64,586 戸	△ 4.0 %
持家	17,031 戸	△ 13.8 %
貸家	25,869 戸	△ 3.6 %
分譲	21,320 戸	5.5 %
内マンション	9,722 戸	19.8 %

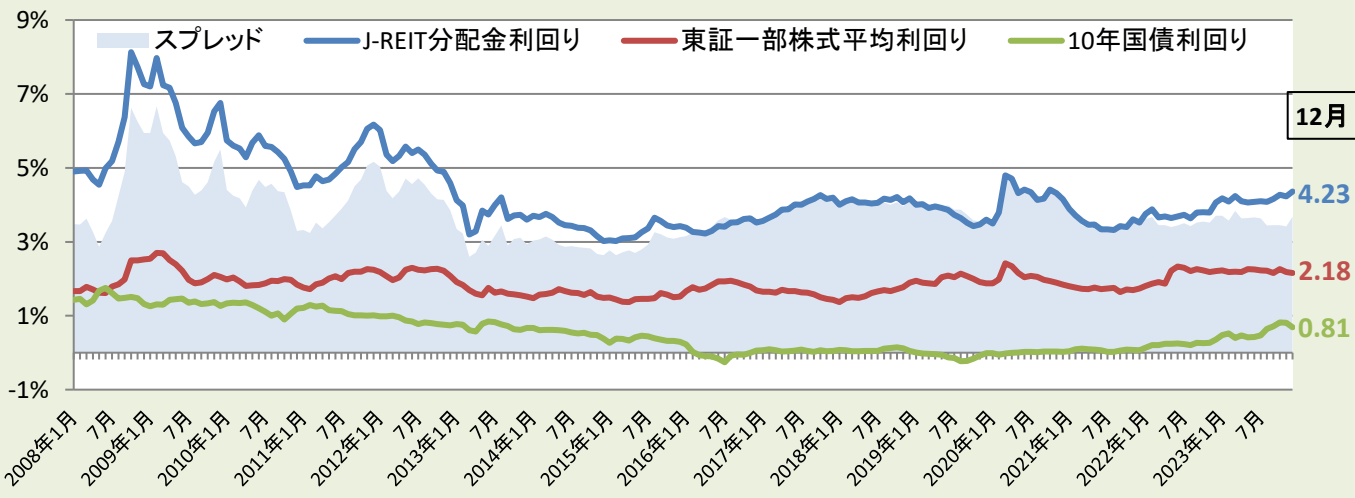
● マンション市場の動向

		前年同月比
新築・供給戸数（首都圏） ^{*3}	5,975 戸	3.8 %
[契約率]	[66.1%]	△ 8.7 p
平均価格	6,970 万円	25.4 %
新築・供給戸数（近畿圏） ^{*3}	3,888 戸	31.7 %
[契約率]	[73.4%]	△ 1.4 p
平均価格	4,615 万円	15.2 %
中古・成約件数（首都圏） ^{*4}	2,969 戸	4.2 %
平均価格	4,784 万円	9.4 %
[㎡単価]	[74.8万円]	7.0 %
中古・成約件数（近畿圏） ^{*4}	1,304 戸	2.9 %
平均価格	3,009 万円	10.2 %
[㎡単価]	[44.4万円]	11.8 %

● オフィス市場の動向

		前年同期比（賃料）/前月比（空室率）
オフィス賃料（都心5区） ^{*6}	19,748 円	△ 1.6 %
オフィス空室率（都心5区） ^{*6}	6.03 %	0.00 p

● J-REIT分配金利回り^{*7}



不動産業の業況感は2ヶ月連続で悪化し、47.5pとなった。

新設住宅着工数は、7ヶ月連続で前年同月比減。

首都圏の新築マンション供給戸数は、前年同月比 3.8%増（3ヶ月ぶりに増）。契約率は 66.1%。平均価格は同 25.4%上昇（2ヶ月連続で上昇）。

近畿圏の新築マンション供給戸数は、同 31.7%増（3ヶ月ぶりに増）。契約率は 73.4%。平均価格は同 15.2%上昇（2ヶ月連続で上昇）。

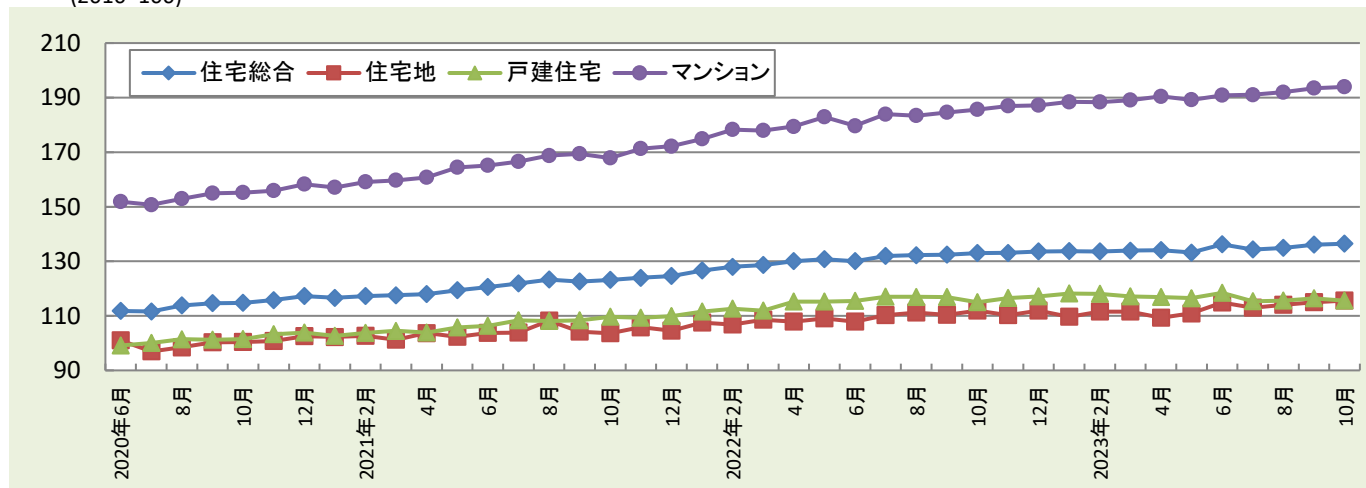
首都圏の中古マンション成約件数は 前年同月比 4.2%増（7ヶ月連続で増）。平均価格は同 9.4%上昇（43ヶ月連続で上昇）。

近畿圏の中古マンション成約件数は 同 2.9%増（3ヶ月連続で増）。平均価格は同 10.2%上昇（6ヶ月連続で上昇）。

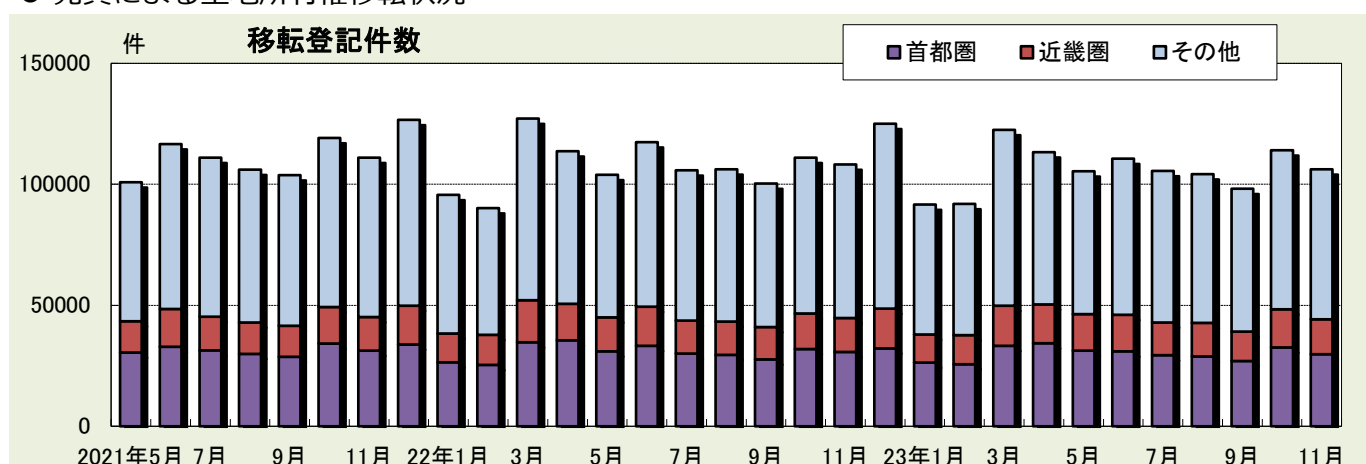
都心5区のオフィス賃料は 37ヶ月連続で前年同月比低下。オフィス空室率は前月比 横ばいの 6.03%。

● 不動産価格指数^{*2}

(2010=100)



● 売買による土地所有権移転状況^{*8}



*1 帝国データバンク（DIは0～100、50が判断の分かれ目）

*2 国土交通省

*3 不動産経済研究所

*4 不動産流通機構

*5 アットホーム

*6 三鬼商事

*7 不動産証券化協会、東京証券取引所、財務省（スプレッド＝J-RIET分配金利回り－10年国債金利回り）

*8 法務省

[今月の不動産経済](#)

[時系列データ\(excel\)ダウンロード](#)